

2018 OM世界決勝大会への派遣

(本クラブ27回目の参加)

- 1 競技大会名 Odyssey of the Mind 2018 World Finals
- 2 大会期日 5月23日(水)～5月26日(土) 4日間
- 3 大会会場 アイオワ州立大学
- 4 参加競技 課題4 バルサ 1チーム “Animal House”
- 5 派遣メンバー-中学2年生 7名

生徒	石川 奏	(いしかわ かなで)	美里中	2年女子スタイル担当
生徒	永田 夏樹	(ながた なつき)	朝日丘中	2年男子スタイル・荷重担当
生徒	石間伏未琴	(いしまぶし みこと)	高岡中	2年女子スタイル担当
生徒	関口 大智	(せきぐち だいち)	益富中	2年男子スタイル・構造物製作担当
生徒	馬場 一輝	(ばば かずき)	末野原中	2年男子スタイル・構造物製作担当
生徒	星野竜之介	(ほしの りゅうのすけ)	上郷中	2年男子スタイル・荷重担当
生徒	森 大青	(もり たいせい)	井郷中	2年男子スタイル担当
- 6 引率者 発明クラブ 5名

団長	上田 建仁	(うえだ たてひと)	理事長
総合コーチ	田中 康之	(たなか やすゆき)	運営委員(チーム全般指導)引率
技術コーチ	松原 美紀	(まつばら みき)	OM専属指導員(スタイル・事務全般)引率
技術コーチ	高橋 幹雄	(たかはし みきお)	OM専属指導員(バルサ担当)
技術コーチ	田中 槇一	(たなか しんいち)	OM専属指導員(第21回アイオワ大会参加)
- 7 旅行日程 合計10日間の予定

競技大会	4日	
博物館視察等	4日	機中 2日
- 8 大会課題の概要
 - ① バルサ材を使用して構造物を作成し、荷重競技(100点)をする。
 - ② 構造物を指定した動物に見えるように装飾し、3種類の餌を与える。
 - ③ 荷重実験中、与えた餌は構造物に保持されていなければならない。
 - ④ 構造物の変身、動物が家を出た理由、荷重実験が関連するテーマでスタイル(寸劇)を構成する。
 - ⑤ 競技時間8分間
 - ⑥ スタイル(寸劇)50点、荷重以外の課題100点、スポンテニアス(当日課題)100点と合わせて得点を競う。
- 9 課題概要
 - ① バルサ材を使って指定したいずれかの動物に見えるように装飾された構造物をデザイン・制作する。
 - ② まず、動物に3種類のエサを与える。動物はそれを食べた後、家を出なければならない。
 - ③ 動物が食べたエサは、荷重実験中は構造物に保持されなければならない。
 - ④ 外観の変化、なぜ動物は家を出たのか、荷重実験の3つが関連したテーマであること。
 - ⑤ 独創性として、いかに構造物を装飾で動物に見えるようにするか、どのようにエサを与えるかが重要。

10 大会の様子

